

授業科目等の概要

(工業専門課程機械工学科) 令和7年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			生き方講座Ⅰ	業界の理解とキャリア意識の向上・自己理解し、自己肯定意識の向上	1前	32	1			○	○		○		
2	○			生き方講座Ⅱ	就職基礎能力の養成・「主体的行動力」「考える力」の育成・社会人基礎力を養成	1後	32	1			○	○		○		
3	○			生き方講座Ⅲ	一般常識、SPIテストの実施・講演、講話を通して社会人意識の向上・ボランティア活動を通して社会貢献の意味の理解	2前	32	1			○	○		○		
4	○			生き方講座Ⅳ	社会人基礎能力の養成・社会人の「規律性」や「ストレスコントロール力」の育成	2後	32	1			○	○		○		
5	○			文章技術	明快で論理的な「レポート」「実習報告書」等の作成能力を育成すると共に、論理的な思考を養う。	1前	32	2	○			○			○	
6	○			情報処理リテラシーⅠ	コンピュータを使用する上で必要な知識を修得する。Wordを中心に入力速度の向上を図る	1前	32	1			○	○			○	
7	○			情報処理リテラシーⅡ	コンピュータの基礎知識と操作法習得・簡単なExcelを使ったデータ処理・PowerPointを使った発表資料作成を行う。	1後	32	1			○	○			○	
8	○			情報技術基礎Ⅰ	基礎的な情報処理について修得・コンピュータの基礎、流れ図・2進数、論理演算、ブール代数	2前	32	2	○			○		○		
9	○			情報技術基礎Ⅱ	基礎的な情報処理について修得・カルノー図の学習・ディンジョンテーブル、KJ法などの意志決定手法の学習	2後	32	2	○			○		○		
10	○			ものづくり概論Ⅰ	加工機械操作のための知識習得・測定・検査について学習・マイクロメータ、ノギスの使用法の学習	1前	32	2	○			○		○		
11	○			ものづくり概論Ⅱ	製造で行われる加工法の習得・鋳造の用語と鋳造法について学習・各種工作機械の特徴と加工対象の学習	1後	32	2	○			○		○		
12	○			機械材料Ⅰ	機械構造物で使われる材料について学習・金属材料の種類、組織、性質の理解・熱処理などについて理解	1前	32	2	○			○		○		





43	○		NC/MC実習Ⅰ	NC加工の基本操作を理解するとともに、機械加工技能検定数値制御旋盤ならびにマシニングセンタ作業3級に受験できる技術を学ぶ。	2前	64	2			○	○	○	△	
44	○		NC/MC実習Ⅱ	高度な精密加工およびCADデータからGコードまたは、アディティブ・マニュファクチャリングを行い、実践的加工を学ぶ。	2後	96	3			○	○	○	△	
45	○		三次元CAD実習	inventorを利用して3次元CADについて操作を学ぶ	2前	64	2			○	○	○		
46	○		実践課題ゼミナールⅠ	修得した加工の知識・技能の応用実習・各グループで製作物を設計から加工までの一連の流れの体験学習	2前	64	2			○	○	△	○	○
47	○		実践課題ゼミナールⅡ	修得した加工の知識・技能の応用実習・各グループで製作物を設計から加工までの一連の流れの体験学習	2後	64	2			○	○	△	○	○
48		○	インターンシップ	企業での就業体験・製造業での仕事体験・仕事の雰囲気、仕事の意味などを理解	1後	64	2			○	○	○	○	○
合計						53	科目	2080	単位時間	96	単位			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：所定の修業年限以上在学し、卒業に必要な単位数を修得した者		1学年の学期区分	2期
履修方法：学科・クラス毎に定められた時間割に則って履修する。		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。